

公民館だより さくらぎ

平成6年7月号
桜木公民館
徳山市城ヶ丘2-4-21
TEL.(0834)-28-5973
FAX.29-0788



手話に挑戦

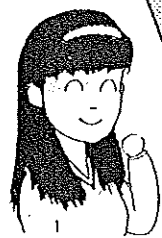
桜木白ばら会の6月学習会
手話の基礎知識を学ぶ



桜木白ばら会 手話を勉強

桜木白ばら会は、昭和五十九年に発足してから今年で丁度十年になり、現在、実人員八十人の会員です。
「白ばら会」というのは、一口で言えば、「私たちの毎日の生活と密接な繋がりがある、政治行政の施策を自ら学ぼう」というものがあり、同時にそれは「政治の主権者は私である」との強い自覚を涵養しようとするものです。
このため、毎月の学習計画に沿って講師の適切な解説を聴き、或いは現地施設の見学など多彩に勉強してきています。
今年の六月は、手話の基礎知識を勉強しました。
手話の表現には「誠実に心を通わすことが大切」との手話講師の教えに、会員一同はうなずき、感銘の深意ある学習会でした。
今後、手話を学ぶパート2学習会も考えられている程の盛会でした。

〔公民館専用ページ〕 差別なく、明るい我がまち我が郷土



やめよう差別 人の痛みがわかるなら

“人権侵害の最たるもの”それは、

「人」が「人」を差別することだ

「差別」のない社会。それは、一人ひとりが「人間として幸せに生きる権利」が保障された、真の民主社会の姿といえます。
誰もが、そんな生きがいのある、明るい社会の実現を強く望んでいるが、実際には、前回でも少し触れたように、さまざまな差別が存在し、多くの人々の心を傷つけ、不幸に陥れているのです。

「差別」とは、ひと言でいうと、すべての人に保障されている「人権」が侵されている状況です。

その中でも、部落差別は、同じ日本国民でありながら、同和地区に生まれたというだけで差別される、きわめて不合理なものです。

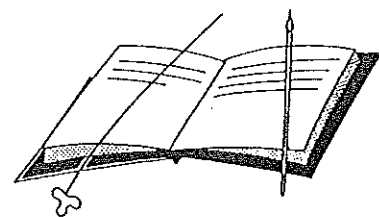
しかも、多くの場合、人の心に潜む、前近代的な誤った意識（偏見や予断など）が、伝承によって引き継がれ、今なお残されて

いるという、決して許すことのできない差別です。

だから、同和問題を解決する第一の段階は、同和問題をより正しく、より深く理解し、誤った意識を払しょくすることです。

次に、「むかしからそういう」とか、「みんなもそうだから」という言葉に代表されるような、非科学的、非主体的な、日常生活での考え方を改めることが大切です。

一人ひとりが、そうした努力をすることで、同和問題の解決はもちろん、真に人権が尊重される、民主社会をつくり出すことができるし、これは、日本の社会の大きな課題解決にもつながるものです。



この稿は、市広報に「同和問題の解決のために」の標題でシリーズで掲載された稿の中の一編を再掲したものです。

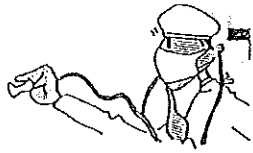
「明るい社会を目指して」

災難や苦難は、ないに越したことはない。運わずにすめば真に結構。お互に何の心配もなく、何の憂いもなく、何の恐れもないということになれば世の中は真に安泰だが、そうは問屋が卸さない。◆、そんな極楽みたいなことは死んで初めて味わえることデヨ、生きチョル時は苦しみ憂いはつきまとうものと思え……。と言うのが戯言子の口癖であり、若い人には、しつかり性根を据えてもらいたいのである。◆心配や憂いは、新しくものを考え出す一つの好転機であり、力と知恵をしほり出す得難い体得の機会である、と開き直れば力も勇気も湧いてこようというもの。不景気で厳しい就職難に直面している若い諸君に特にこのことを呈上したいのである。◆「七転び八起き」の格言がある。何度失敗しても屈せず、奮い立つ姿を言ったものである。長い人生、広い世の中、失敗も悲観もある。◆その時この格言は大きな指針となる。◆七度転んでも八度目に起きれば良いなどと呑気に考えるな。一度転んで気が付かぬば、七度転んでも同じこと。「転んでもタダでは起きぬ」真剣な心構えが大切なデヨ。一度の転びで気がつく真剣な人になりたい。

編集戯言

健康ページ
食中毒のはなし

冷蔵庫を過信すべからず



◆梅雨時から盛夏・秋口にかけて、食中毒が集中発生の傾向を示す理由として、次のことが挙げられる。

①海水温度が上昇し、海水中の「腸炎ヒブリア」が増える。②冷たいものが多いと感じられ、加熱せずに食べることが多くなる。③暑さで身体が弱り抵抗力が衰える。

①冷蔵庫の使い方に注意。食中毒の原因菌は、十度Cを越えると徐々に増えはじめるので、冷蔵庫内は五度C以下に、又ぎっしり詰め込まず、容積比七十%ぐらいにする。

②まな板、ふきん、等はいつも清潔第一に。

③調理前は勿論、調理中でも、こまめに

●食中毒は暑い夏に多発する●

六月から十月末に年間八割が集中

●食中毒の予防二原則
★清潔 ★迅速
★加熱(または5度C以下の冷却)

手を洗う(特に生物や肉魚に触れたら、石鹸で手を洗って次の調理にかかると)

④手指に切り傷がある時は、調理をしないか指サックを用いる。

⑤食品は買ったから出来るだけ早く調理し、早目に食べる。

⑥食品は、なるべく火を通す。

桜木地区体育振興会ニュース

(簡易スポーツ同好者募集)

種目: ソフトタッチバレー

興味のある人は誰方でも参加OK、毎週土曜日20時から桜木小体育館でやっています。自由参加歓迎。

②地区内スポーツ大会
6/5(日)実施の各種目ごと取組結果。

★桜木地区第30回ソフトボール大会

●優勝=城2 ●2位=桜1 ●3位=城5

★桜木地区第31回バレーボール大会
(クラス別の1位チームのみ掲載)

●A級=城5 ●B級=桜2 ●C級=城3

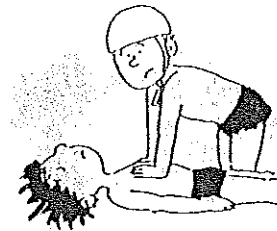
①簡易スポーツでいい汗かきませんか



本年度「我が地区紹介」の内容を盛り込んだ「ビデオ制作」事業を、市の指導補助を得て推進に着手しました。現在の桜木の昔を探訪映像を主に、地区活動状況を紹介するのが主内容で、地区の古老級の方々に協力を願ひ、昔の伝承・風習・行事、その他の協議を開始しました。(明年3月迄に完成の目途で進めています)今後の進展状況は、その都度お知らせします。

救急法講習会

救急法は「いざ」という時に誰もが知っておくべき心得です。



「泳ぎに行き溺れたら…」「運動中に転んで骨折したら…」等思いがけない事故の応急措置方法を学びませんか。次の講習会に多数のご参加をお待ちしています。

- ★主催 桜木公民館、体育振興会、スポ少連絡協議会、子供会連合会
- ★日時 平成6年7月14日(木)19時~21時
- ★会場 桜木公民館(☎28-5973)
- ★指導者 日赤救急指導員 西田 高德先生
- ★受講料 不要
- ★申込 誰でも受講できます。当日直接会場へお申し込み下さい。
- ★その他 トレパンなど身軽な服装でご参加下さい。

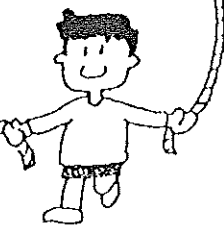
備忘録

7月~9月の「とおの山巡回」と「学童あいさつ立哨」の当番自治会は下表のとおりです。

とおの山巡回	
7月	平原
8月	市住1
9月	桜木2
あいさつ立哨	
7/11	市住2
8月(夏休み中)	立哨なし
9/21	城4
●婦人会の立哨日は自治会と同一日に所属婦人部で。	

公民館から

緊急災害時の避難先。
集中豪雨・台風等で相当に大きな災害の発生が予想される気象状況の時、自分の家屋で居住困難の状態になった場合は、緊急避難先として地区では、公民館と桜木小学校が予定されています。(6月5日号の市広報をご参照下さい)



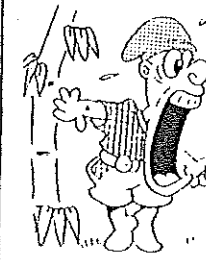
公民館を見学訪問



6月23日、ペン毛筆習字の講座を見学中です。

- 「桜木小PTA生活館から」
- 資源回収にご協力を...
- ★7/2(木)9時から
- 「城1、平原、桜1、2、3」
- ★7/22(金)9時から
- 「城2、3、4、5、市住1、2」
- ②雨天は翌日実施します

念のために申しあげる



1. 公衆電話... 公民館にあった赤色公衆電話が、今月から黒色でプッシュ型に変更されたが、使用機能は従来どおりです。為念。
2. 参加申込... 6月号で告知の【さくらぎ親子クッキング教室】の参加申込の〆切り日は7月11日(月)で、先着順30名で〆切ります。
3. 優勝... 第7回徳山市夏季ゲートボール大会で、城5クラブが優勝。